

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 1 区分
【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公表番号】特表 2001-500424(P2001-500424A)
【公表日】平成 13 年 1 月 16 日 (2001.1.16)
【出願番号】特願平 10-512188
【国際特許分類第 7 版】
 B 0 1 F 17/42
 A 6 1 K 7/50
【F I】
 B 0 1 F 17/42
 A 6 1 K 7/50

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 8 月 20 日 (2004.8.20)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成16年 8月20日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第512188号



2. 補正をする者

氏名（名称） コグニス・ドイッチュランド・ゲゼルシャフト・ミト・
ベシュレンクテル・ハフツング・ウント・コンパニー・
コマンドイトゲゼルシャフト

3. 代理人

住所

〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名

弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 明細書および請求の範囲

5. 補正対象項目名 明細書および請求の範囲



6. 補正の内容

次の箇所を補正します。

I. 明細書

(1) 第1頁第19行、「を含む」とあるを、「を含む、転相温度エマルジョン製造用」と補正する。

(2) 第2頁第7行、「ローレンス」とあるを、「レーレンの」と補正する。

(3) 第3頁第11行、「とのエステル、特に 2-エチルヘキサノール」とあるを、「特に 2-エチルヘキサノールとのエステル」と補正する。

(4) 第3頁第21行、「脂肪被覆剤」とあるを、「過脂化剤」と補正する。

(5) 第3頁第23行、「成長促進剤」とあるを、「成長促進剤（生物製剤）」と補正する。

(6) 第4頁第13行、「15～60 付加物」とあるを、「15～60 モル付加物」と補正する。

(7) 第5頁下から第3行、「Cocamidopropyl Betaine、CTFA 名称として」とあるを、「Cocamidopropyl Betaine の CTFA 名で」と補正する。

(8) 第6頁第12行、「脂肪被覆剤」とあるを、「過脂化剤」と補正する。

(9) 第6頁第20行、「チローセ」とあるを、「チロース」と補正する。

(10) 第7頁最下行、「成長促進剤」とあるを、「成長促進剤（生物製剤）」と補正する。

II. 請求の範囲

別紙のとおり

以 上

(別 紙)

請求の範囲

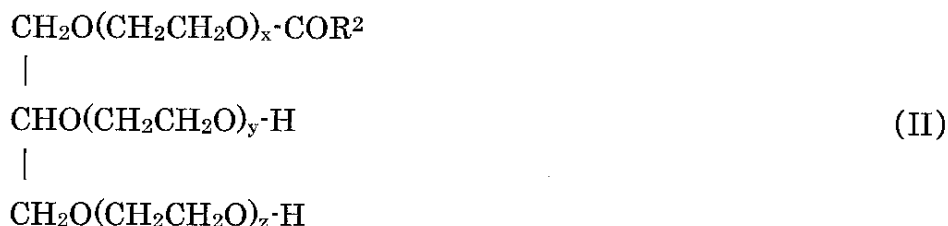
1. (a) 脂肪酸エトキシレートおよび

(b) 部分グリセリド

を含む、転相温度エマルジョン製造用乳化剤混合物。2. 脂肪酸エトキシレートが、式：

〔式中、 R^1CO は、炭素数 12～22 の直鎖または分岐鎖アシル基、 n は、5～50 の数である。〕

で示される化合物である請求項 1 記載の混合物。

3. 部分グリセリドが、式：

〔式中、 R^2CO は、炭素数 12～22 の直鎖または分岐鎖アシル基、 x 、 y および z は、0 または合計 5～50、好適には 15～35 の数である。〕

で示される化合物である請求項 1 記載の混合物。

4. 前記成分 (a) および前記成分 (b) を、10 : 90～90 : 10 の重量比で含む請求項 1～3 のいずれかに記載の混合物。

5. 乳化剤混合物は、エマルジョンを基準に 1～10 重量%の量で使用される請求項 1 から 4 のいずれかに記載の混合物。

6. 転相温度エマルジョンの製造のために、炭素数 6～18 の脂肪アルコールをベースとするゲルベアルコール、炭素数 6～20 の直鎖脂肪酸と炭素数 6～20 の脂肪アルコールとのエステル、炭素数 6～13 の分岐鎖カルボン酸と炭素数 6～20 の直鎖脂肪アルコールとのエステル、炭素数 6～18 の直鎖脂肪酸と分岐鎖アルコールとのエステル、直鎖および／または分岐鎖脂肪酸と多価アルコールおよび／またはゲルベアルコールとのエステル、炭素数 6～10 の脂肪酸をベースと

するトリグリセリド、植物油、分岐鎖一級アルコール、置換シクロヘキサン、ゲルペカーボネート、ジアルキルエーテルおよび／または脂肪族炭化水素またはナフテン系炭化水素からなる群から選ばれる油と共に使用される請求項 1～5 のいずれかに記載の混合物。

7. 油は、エマルジョンを基準に 10～50 重量%の量で用いられる請求項 6 記載の混合物。